

## 1 単元名

意見を整理しながら、目的に向かって話し合おう（光村図書「国語5年下」）  
「失敗」をめぐる（話すこと・聞くこと）

## 2 単元について

### (1) 教材観

本単元「意見を整理しながら、目的に向かって話し合おう」は、話し合いの目的や順序を確かめ、分類・整理をしながら計画的に話し合うことをねらいとしている。

本単元は、『『失敗』をめぐる』という話題をもとに、①自分の失敗の体験を出し合い、具体例を集める。②集めた具体例の共通点をまとめ、いくつかに分類・整理する。③失敗を減らす方法について意見をまとめる。と言った順に学習を進めることで、グループごとに話し合いの目的を明確にし、計画を立て話し合いを進めていくという流れとなっている。このように、目的を明確にし、話し合いの手順に沿って話し合いを進め、友達の体験や意見を類型化し、意見としてまとめていく学習を行うことは、自分の立場や意図をはっきりさせ、実生活で生きて働く話し合いの力を身に付けることができると考える。

また、「失敗」を題材として話し合うことを通して、誰にでも失敗はあると共感したり、友達の失敗を受容的な態度で受けとめたりすることにより、友達についての認識を深め、よりよい人間関係の構築につながる教材でもある。

### (2) 児童観

子どもたちは「インタビュー名人になろう」の学習で、学級の友達が所属する委員会やクラブの活動内容を紹介するために、目的や内容を明確にしたインタビューをする中で、相づちを打ったり、相手の話を聞いて関連させた質問をしたりする学習を行った。また、話し手の考えと自分の考えの相違点や共通点をメモを取りながら聞き取り、自分の考えを深めるという学習を行った。これらの学習を通して、相手の話を受け、自分の知りたいことを掘り下げる質問をしたり、自分の考えを述べたりする子が増えてきている。全体交流の話し合いでも、教師の支援の中で、自分の考えがうまく伝わるように理由を添えて話したり、友達との考えの類似点や相違点についての根拠も明らかにしながら話したりする姿が見られている。しかし、グループの話し合いになると、目的をもたず思いつきで発言したり、考えの出し合いに終始したりするなど、結論を意識しながら計画的に話し合う力は育っていない。

### (3) 指導観

子どもたちのこれまでのグループにおける話し合いは、考えを出し合って決定したり、共通理解をしたりすることがほとんどであり、出された意見を類型化する体験は無い。本単元では、ねらいを達成するために、話し合いの見通しをもち、意見を分類・整理し、まとめていく話し合いの力が必要となる。

そこで、次のような方法でめあてにせまるようにする。

#### ①話し合いの目的と方法を明確にするために、モデル提示の仕方を工夫する。(改善のポイント①)

「何のために」「どのような方法」で話し合うのかを明確に持たせるために、いろいろな話し合いのモデルを提示する。CDと原稿によるモデル文の提示、分類・整理をする話し合いのビデオモデルの視聴、事例をもとに全体で分類・整理をやってみる等、めあてにあわせた焦点化したモデルを提示する。

#### ②体験や意見を出し合い1つにまとめる話し合いの場を繰り返し設定する。(改善のポイント②)

導入場面での「試しの話し合い」、展開場面での「モデルを活用しての基本的な話し合い」、活用場面での「話題を変えた話し合い」の場を設定したり、グループのメンバーを変えたりすることで、計5回の話し合いの場をくり返し設定し、話し合う力の定着を図る。

### 3 単元の目標

- 話題を選んで話し合うことに興味をもち、失敗の原因やその予防策について進んで話し合うことができる。
- 話し合いの目的や順序を確かめながら、話題に沿って計画的に話し合うことができる。

### 4 単元計画

次	目標	時	学習活動	主な支援
第1次	話し合いの目的と方法を知り、話し合いに参加しようという意欲をもつ。	1	1 教材名「失敗をめぐって」から、これまでの自分の失敗を発表する。 2 失敗を減らす方法について話し合い、うまく行かなかったところを出し合う。 3 モデルCDの話し合いと自分達の話し合いとの違いから単元のめあてをつくる。 ①話し合いの目的と順序を確かめる。 ②体験を出し合い、失敗の具体例を集める。 ③集めた失敗を分類・整理する。 ④項目ごとに解決方法を考える。	○ 自分達の話し合いとの違いに気付かせるために、モデル文を提示する。 ○ 話し合いの手順に気付かせるために、会話文に着目させる。
第2次	少人数での話し合いの手順を理解し、目的や順序を意識しながら話し合う。	2	1 どのような話し合いをしたらよいかモデルビデオを見て話し合う（失敗の原因を分類・整理する話し合い）。 ①失敗の具体例を出し合う。 ②出された失敗を似たものでまとめる。 ③失敗の原因をまとめる。 2 前半グループの話し合いをする。 3 後半グループの話し合いをする。	○ 失敗の原因の共通点を考えてカードを分類・整理していることを理解させるために、前時のモデルCDの話し合いの一部をビデオにしたものを見せる。
		3 本時	1 どのような話し合いをしたらよいかモデル事例をもとに話し合う。（解決の方法を分類・整理する話し合い） ①失敗の具体的な解決方法を出し合う。 ②出された解決方法を似たものでまとめる。 ③出された解決方法をまとめる。 2 前半グループの話し合いをする。 3 後半グループの話し合いをする。	○ 具体的な解決方法を話し合うことや出てきた解決方法を分類・整理しながらまとめることを理解させるために、モデル事例をもとに全体で話し合い解決方法を考えさせる。
		4	1 グループのメンバーを変え、失敗を減らす方法を話し合う。 2 2回の話し合いを振り返り、成果と課題を出し合う。 3 新しいメンバーで話し合う。	○ よりよい話し合いのために、話し合いがうまくいった理由とうまくいかなかった理由を共有する。
第3次	グループごとの話題で話し合いをし、その振り返りについて交流し、話し合いの大切さを知る。	5	1 ちがう話題を選択し、話し合いの計画を立てる。 <b>【違う話題】</b> ・失敗を「成功のもと」にするためには ・他人の「失敗」にやさしくするには 2 目的とその手順をはっきりさせ、話題に沿って計画的に話し合う。	○ 話し合う方法を生かすことができるようにするために、グループのメンバーを変えて、違う話題で話し合う。
		6	1 グループの話し合いと話し合いの評価について振り返る。 2 身についた話し合いの方法と失敗について考えを深めたことを発表し、これからの学習や生活で生かしたいことをまとめる。	○ 学んだことをまとめるために、学習プリントの評価を振り返る。

5 本時 3/6 第5年 組

6 本時の目標

- 失敗について分類・整理した項目ごとに、よりよい解決方法について話し合うことができる。

7 準備するもの

教師：グループごとの発表ボード 色短冊紙  
児童：学習プリント

8 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、自分が経験した様々な「失敗」の内容を出し合い、その「失敗」を原因ごとに分類し、短い言葉にまとめる話し合いをしてきている。本時は、失敗を減らすための具体的な解決方法について話し合うことをねらいとしている。

そこで、次のような授業仮説を設定し、学習を進めていく。

授業仮説

失敗を減らすための具体的な解決方法を話し合う場面において、以下のような手だてを行えば、出された意見を整理しながら、目的に向かって話し合うことができるであろう。

- ① 具体的な解決方法を話し合うことや出てきた解決方法を分類・整理しながらまとめることを理解させるために、モデル事例をもとに全体で解決方法を考える話し合いの場を設定する。
- ② 目的に向かう話し合いの具現化を図るために、モニターの観点（分類・整理のポイント）を明確にした自己評価・他者評価を取り入れる。
  - ・ 1つ1つの失敗に戻って具体的な解決方法を考えている。
  - ・ 出された解決方法を似たものでまとめる。
  - ・ 出された解決方法を言葉にまとめる。

つかむ段階では、本時のめあてをつかみ、学習への見通しをもつことをねらう。そのために、前時の学習や話し合いの計画をもとに、よりよい解決方法とは何か考えさせる。よりよい解決方法とはどのようなものをいうのか共通理解を図ることで、めあてをより具体的なものにする。次に、前時のモデル例の解決方法を考えることで「解決方法の話し合い方」を理解させる。子どもたちが出す、具体的な解決方法を短冊で掲示し、似たものに集めることで、具体的な解決方法を出すためには、1つ1つの失敗にもどって解決方法を考えることと、それぞれ出てきた解決方法を似たものにまとめるという話し合いのポイントに気付かせる（仮説①）。

さぐる段階では、出てきた解決方法を分類・整理しながらまとめることを理解させることをねらう。そのために、学級を話し合いグループとモニターグループに分け、前半と後半の2回に分けた話し合いを行う。はじめに、それぞれの失敗について具体的な解決方法をピンク色短冊に書いて出し合う。次に、解決方法を書いたピンク色短冊紙を操作し、出された解決方法を似たものでまとめる。最後に、まとめた解決方法を濃いピンク色短冊に書かせる。一連の話し合い活動は、失敗の内容・解決方法・まとめといった項目ごとに色を変えた短冊に書き込み、話し合いと併せて操作することで、出た意見の内容や分類・整理の過程を視覚的に捉えさせるようにする。話し合い後は、モニターグループにより、話し合いの過程や結果を発表させ、めあてが達成できたかどうかを評価する（仮説②）。また、話し合いのよさを相手に伝えることで、後半の話し合い活動につなぐ。

まとめる段階では、めあて達成をふり返ることをねらう。そのために、モニターの観点及び、進んで話し合いに参加できたかどうかの2点からふり返りをさせ、よさの共有化を図る。

分類：事物をその種類・性質・系統などに従って分けること。同類のものをまとめ、いくつかの集まりに区分すること。類別。

整理：① 乱れた状態にあるものを整えて、きちんとすること。「資料を一する」「気持ちの一がつく」「交通一」②無駄なもの、不要なものを処分すること。「人員を一する」 **【大辞林】**

9 本時の展開

学習活動と内容	主な支援
<p><b>1 前時の学習をふり返し、本時のめあてについて話し合う。</b></p> <p>(1) 前時までの学習をふり返し、本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="193 432 874 510" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>失敗を減らすために、よりよい解決方法について話し合おう。</p> </div> <p>(2) 前時のモデル事例の解決方法を考えて、「解決方法の話し合い方」を理解する。</p> <div data-bbox="193 629 874 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>失敗の内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ノートを買った</p> </div> <p>↑ ↑ ↑</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>メモをしては る</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>時間割に書き 込んでおく</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>連絡帳に書く</p> </div> </div> <p>↓ ↓ ↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>忘れた失敗は、メモを書いて目立つところにはるとよい。</p> </div> </div> <div data-bbox="193 1070 874 1272" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>解決方法の話し合い方</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 失敗の具体的な解決方法を出し合う。</li> <li>② 出された解決方法を似たものでまとめる（色短冊紙を操作する）。</li> <li>③ 出された解決方法を言葉でまとめる。</li> </ol> </div> <p><b>2 話題「どうすれば失敗を減らすことができるか」についてグループで話し合う。</b></p> <p>(1)前半グループが話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの後、自己評価をするとともにモニターは相手に評価内容を伝える。</li> <li>・どのような話し合いになったか、話し合いの過程や結果を発表させ、めあてが達成できたかどうか確認する。</li> </ul> <p>(2)後半グループが話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(前半と同じ)</li> </ul> <p><b>3 本時の学習をふり返し「今日の学習で」を書く。</b></p> <p>(1)「今日の学習で」を書く。</p> <p>(2)発表する。</p>	<p>○ めあてをつかむために、前時の学習や話し合いの計画をもとに、よりよい解決方法とは何か考えさせる。</p> <p>○ 具体的な解決方法を話し合うことや出てきた解決方法を分類・整理しながらまとめることを理解させるために、モデル事例をもとに全体で解決方法を考える話し合いの場を設定する。</p> <p>○ 内容→原因・解決方法→まとめの繋がりを整理し、よりよい解決の話し合いができるようにするために、失敗の内容を白、その解決方法をピンク、解決方法をまとめたものを濃いピンク、に色分けした色短冊紙に書いたり、操作したりして分類・整理を行う。</p> <p>○ 「解決方法の話し合い方」を確認させるために、手順と全体交流のカード操作を対応させて、話し合い方を提示する。</p> <p>○ よりよい解決方法について話し合う過程をつかみ、互いのよさを取り入れるために、4つの班が話し合っているときは、残りの4つの班はモニターとなって、話し合いの仕方を観察・評価させる（全体を3～4人グループ×10班に分ける）。</p> <p>○ よりよい解決方法の話し合い方ができたかどうか評価するために、代表グループの発表ボードを提示したり、モニターから話し合いの過程や結果を発表させたりめあてが達成できたかどうかを評価したりする。</p> <p>○ 本時のめあてをふり返るために、自己評価・他者評価を踏まえた「今日の学習で」を発表させる。</p>